



かけはし

理念

すべては患者様と
地域社会のために



病院ホームページは

<http://www.mhi.co.jp/kobe/hospital/>

発行責任者 病院長 松本 健

先生
おたずねします



『糖尿病とがんについて』



現在、日本人の2人に1人はがんになると言われています。高齢化社会の急速な進行とともに糖尿病になる方もうなぎ上りに増えています。そのため、糖尿病とがんの両方を患われる方もどんどん増えているのです。実際に1990年代以後、糖尿病患者さんの死因の第一位は、脳梗塞や心筋梗塞といった血管の病気ではなく、がんなのです。特に70歳を超えると増加しているのです。

Q どれくらいかかりやすくなるのですか？

＜回答者＞

病院長 松本 健

A 糖尿病の方は、そうでない方に比べてがんにかかる危険度が、**男性で1.25倍、女性で1.23倍**に増加することがわかりました。特にどんながんにかかりやすくなるかと言えば、**肝臓癌、膵臓癌、大腸癌**です。それぞれの危険度は肝臓癌1.97倍、膵臓癌1.85倍、大腸癌1.4倍となることがわかりました。喫煙者が肺癌になる危険度は5倍、何らかのがんになる危険度は1.6倍と言われておりますので、決して稀なことではないということがわかるでしょう。

Q がんにかかる危険度を下げするためにはどうしたらよいでしょうか？

A まず、がんと糖尿病の共通の危険因子を避けることが重要です。適度な運動をして肥満を解消する。過剰な飲酒を控え、タバコは吸わない。そして不適切な食事を避ける、といったことが挙げられます。不適切な食事とは、赤肉(牛豚羊馬やぎの肉)・加工肉の過剰摂取、野菜・果物・食物繊維の摂取不足などを指します。それとともに検診を受けることも重要です。糖尿病の方は血糖コントロールの状態を診るため、1～2か月に1回採血をしてヘモグロビンA1cや血糖をチェックしますが、それだけでは、十分ではないので、それぞれのがんに関連した検査を、1年に1回は受けるようにして下さい。

お問い合わせ先

内科受付：078-672-2619 (外線)
8-63-22619 (内線)

新任医師ご紹介



外科
三浦 由紀子

専門分野：
消化器外科、一般外科

趣味・特技：
音楽鑑賞、ライブに行くこと

これからの抱負：

患者さんお一人お一人と丁寧に向き合い、きめ細やかな医療を提供し、地域の皆様にお役に立てよう頑張ります。宜しくお願い致します。

お知らせ

「風しんの抗体検査及び予防接種クーポン券」をお持ちの患者様へのご案内

風しん予防の保健行政施策として、昭和47年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性を対象に各市町村の保健所より、抗体検査・ワクチン接種のクーポン券が発送されました。

当院は同クーポン券による検査・ワクチン接種の対象医療機関となっております。
(神戸市在住以外の方も対応致します。)



詳細につきましては、当院ホームページをご確認下さい。

当院ホームページURL
<http://www.mhi.co.jp/kobe/hospital/>